〔第三種郵便物認可〕

中　部　経　済　新　聞

●知多支社　半田市泉町１―４
新美ビル４階
0569(24)6320
ＦＡＸ　0569(24)6367

●三河支社　岡崎市明大寺町
寺東５―３　鈴熊
0564(52)2
ＦＡＸ　0564(54)2

●豊田支局　豊田市小坂本町
４―２
0565(34)1

知多・三河・静岡

引き出物に地元農産物

葬祭業のＦＵＮＥ

若手農家集団と提携

地産地消の新形態提案

葬祭業のＦＵＮＥ（フューネ、本社豊田市小坂本町6の15、三浦直樹社長、電話0565・35・3535）はこのほど、葬儀や法要の引き出物として、地元の農産物を集めたカタログギフトの販売を開始した。若手農家集団「とよた夢農人（ゆめのーと）」と協力関係を結び、生産者の顔が見える旬の食材を届ける。引き出物にも独自性を取り入れ、葬儀などの付加価値を高めるのが狙い。農産物の流通の新しい形を発信し、地域農業の活性化にもつなげる考え。

（豊田・強田裕史）

夢農人のメンバーからカタログの見本と梨を受け取る三浦社長（左端）

カタログギフト「風音（フューネ）」には、豚肉までそろえた。また、豊田市産の抹茶やいちごといった季節ごとの果物をはじめ、しゃぶしゃぶ用、どら焼きもラインアップに加え、客が8種類の商品から好きなものを選べるようにした。

いずれの食材も、豊田市とみよし市の農産物を使用している。減農薬や有機肥料栽培、抗生物質を含まない飼料の採用など、生産者が製法にこだわっているのも特徴。

食材の供給は、若手農家の団体「とよた夢農人」のメンバーが担う。昨年の結成以来、イベントなどで地元産農作物の魅力発信に取り組む同団体にとって、新しい販路ができるのは願ってもないこと。鋤柄雄一会長は「他地域の人たちに味わってもらえる機会が増えるのはうれしい。先行事例として認知してもらいたい」と期待を高めている。

一方、「引き出物に地産地消を取り入れたかった」（三浦社長）というＦＵＮＥにとっても、地元ブランドの農産物は、これ以上ない商材。〝感動葬儀〟を掲げ、価格競争とは一線を画する同社は、引き出物でも差別化を推進する考えだ。

「店舗では買えない希少性を持つ『風音』は、必ず受け入れられる自信がある。地域の農業活性化につながるのも画期的」と新商品の独自性をアピールする三浦社長。「米や野菜まで種類を広げたい」と意欲を示している。